



ご挨拶

会長 中野 昌彦



新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

新年も明けましたが、我々の周囲は過去最高のインフルエンザの流行で、充分休まることのない年末年始であったかと思いますが、どうか余り無理をなさらぬ様お願い申し上げます。さて、きゃべつの会も発足して何年も立ち、患者さんにとりまして、最初は何をする会かよくわからない手探りの様な状態であったかと拝察致しますが、徐々に要領を得て気兼ねなくいろいろなことを胸襟を開いてお話でき、貴重な話し合いの場となってきたものと考えております。本年は巳年でもあり、くねくねと脱皮を繰り返しながら、しかし、確実に成長していく、そんな1年にしたいと考えておりますので、患者様の側からも、こんな会にしたい、こんな話題で話をしたい等提案がありましたら大歓迎ですので、どんどんご希望をお寄せ頂ければ幸いです。

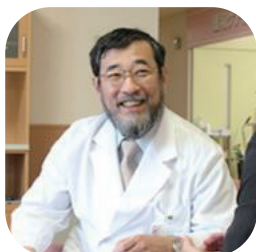
では本年も宜しくお願い致します。

きゃべつの会



京都南病院分院伏見診療所

川上 明



スピリチュアルペインについて

世間では「がん」という言葉を聞くと「死」を連想してしまうことがよくあります。何ともいえない不安が襲ってくるのです。その大きな要素がスピリチュアルペインであり「自己の存在と意味の消滅からくる苦痛」といわれています。死というものを意識した時、その人の存在を分析したものと考えてください。人は①時間の中で存在している。②関係性の中で存在している。③自律のなかで存在している。3つの存在の意味を考えているのです。以前きゃべつの会で②についてお話いたしました。今回は①をお話します。人は将来のため今一生懸命何かをしているのです。将来のことなんか考えたことはないよ、という方は「あるのが当然」と無意識に考えているのです。「死」というものを意識し「未来がない」と思った時、今何のため生きているのかと考えてしまい、生きることが無意味であり無価値だと感じてしまい辛くなるのです。それがスピリチュアルペインなのです。



お願いします

今回の会報誌の担当は
下京西部医師会です

【友だち登録にはLINE アプリが必要です】

- ① スマートフォン等でQRコードを読取ってください。
- ② ID検索LINE アプリで「友だち追加」「ID検索」で「@903NUYTA」を入力してください



ID: @903NUYTA

発行：一般社団法人下京西部医師会

〒601-8452 京都市南区唐橋
堂ノ前町15-9 エステート南ビル301
☎075-693-3900 📠075-693-3911

2024年度 活動報告

下西医師会 前田 康秀



今年度は「きゃべつの会」を4回開催しました。3年に及ぶコロナ禍の時期を経てようやく本来の皆が一堂に会する患者会が開催でき嬉しく思います。

《主な活動内容》

●きゃべつの会 患者会開催

2024年3月9日(土) 患者会14名参加

(京都南病院 地域交流ホール 講演：廣間文彦先生)

2024年6月8日(土) 患者会13名参加

(康生会武田病院 講演：永田一洋先生)

2024年9月14日(土) 患者会13名参加

(京都九条病院 マムスクエア 講演：稲田聡先生 理学療法士による健康体操)

2024年12月14日(土) 患者会15名参加

5会場(京都南病院、康生会武田病院、京都九条病院、やすだ医院、前田クリニック) 講演：川上明先生

●きゃべつの会 会誌発行

4月 第14号(京都南病院担当)

7月 第15号(康生会武田病院担当)

10月 第16号(京都九条病院担当)

●実行委員会 月1回開催

実行委員

一言メッセージ

■急激に寒くなり、体調管理が難しくなり不安になる方も多いかと思いますが、3月に開催する「きゃべつの会」は医療機関ではない場所での開催を予定しております。

従来の「きゃべつの会」とは違う一面がみえることを期待し、参加される皆様が主体になるような「きゃべつの会」にできるようにサポートしていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

康生会武田病院 患者サポートセンター 吉田 怜史

■きゃべつの会でお会いしお話できること、とても温かい時間で大切にしています。皆さんにとってもそうでありますように。2025年もよろしくお願いいたします。

京都南病院 吉岡 真弓

■このたび退職することとなりました。きゃべつの会での活動を通じ、地域の先生方や参加者の皆さまに支えられ、貴重な時間を過ごすことができました。心より感謝申し上げます。

京都九条病院 前田 留里

■患者会では参加する度に色々と感じることがあります。外来ブースや化学療法の部屋では話することがないような日常生活に関することを深く聞くことができます。

自分は癌の治療はしているものの、癌にはなっていないません。日本人の癌の罹患率を考えるといずれ自分もなるといいます。大変学ばせてもらっています。

新京都南病院 廣間 文彦

■昨年の夏は暑く、この冬は北部では大雪と大変な気候です。この冬は感染症も流行っておりますが、体に気を付けて1年頑張ってくださいませよう。

京都九条病院 稲田 聡

■7年前に京都府内の地区医師会内に初めてがん患者さんの会が発足しました。今までは3病院2診療所内で会を開催していましたが、今年から固定した場所で開催することになりました。次の一歩に進みました。最終の目的は患者さん主体で運営する「きゃべつの会」です。お楽しみに。

やすだ医院 安田 雄司

■2024年はきゃべつの会をWebでなく現地開催できるようになり、多施設の方々と一緒に集まり、楽しく時間を過ごす機会が持てようになったことがとてもうれしかったです。2025年は年始よりインフルエンザの大流行がおこり、コロナもまた流行する兆しもあります。油断はできませんが、感染に注意しながら今年もきゃべつの会を楽しんで頂けるよう準備していきたいと思っています。

康生会武田病院 永田 一洋

●編集後記●

楽しかった～！ユニバーサルスタジオ！
下西レクリエーションで行ってきました！
分刻みでアトラクションを周り、乗りたかったものは全て制覇し大満足！天気も最高！
一番たのしかったのが新アトラクションの「ドンキーコングのクレージー・トロッコ」もう一度乗りたかった。
また今年一年健康にも留意しながら仕事に頑張りたいと思います。

(下京西部医師会事務所)

